

掛け声



躍動感あふれる踊りで沿道の市民や観光客を喜ませる子どもたち。23日、境港市大正町の水木しげるロード

500人の踊

事が進むロードでは、再配置のため妖怪プロダクションがJR境港駅前の公園に仮移設され、数が少なくなっているが、訪れた県外客や外国人旅行者は観光と祭りを一緒に楽しんでダンススタジオフラ

の道路ではポルタリングなどの遊具が目見えし、子どもたちの笑顔がはじけた。夜には境水道で花火大会があり、2千発の花火と水面を流れる約2400個の灯籠が見物客を魅了した。

美保湾ヨットで満喫

家族連れらセーリング体験

子どもたちにマリインレジャーに親しんでもらうイベントが23日、境港市新屋町の境港公共マリナーと美保湾であり、参加した家族連れら約600人がクルーズ型ヨットで美保湾を巡るセーリングなどを楽しんだ。マリインレジャーの楽しさや環境保全の大切さを実感してもらおうと、日本セーリング連盟が全国13カ所で開催。境港では「海と日本プロジェクトin境港」と銘打ち、地元NPO法人美保湾ヨットクラブ(竹本利治理理事長)と日本財団が連携して実施した。参加者は同クラブのメンバーが所有する10〜20人乗りのヨットに乗り込み、約1時間かけ美保湾をクルーズ。船上では船長からコンパスを使った方位の調べ方を教わったほか、

た同市渡町の上田樹君(8)は「初めて船に乗った。風が強くて涼しかった。今度は船に乗って魚釣りがしたい」と満足そうに話した。(高埜正範)



「とうとう未来応援隊(主催)が23日、鳥取市篠坂で開かれた。約50名の特設コースでは、ぬかるみに足を取られて転倒する出場者が続出。泥まみれになりながら、ゴールを目指す姿に会場から熱い声援が飛んだ。耕作放棄地対策として同応援隊が整備した遊び場「泥田場」が会場。タイのカンチャナ

つかみ取りに挑戦

天神川流域会議は23日、三朝町大瀬の大瀬川とふれあう学習会」を開催した。参加した子どもたちは、魚のつかみ取りなどを通して、川遊びの楽しさを

満喫した。安全な川遊びについて学び、夏休みに楽しむ遊んでもらおうと実施された。昨年に続いて2回目。県中部を中三徳川の水辺の楽校で川遊びを体験。川に作った「池」に計16名の農

課題や方向性3分野で議論鳥取で若者円卓会議の提言を反映させる鳥取県の施策に若者の意見を交わした。会議には、商工・金融や農林水産業などの

す方向性について活発に意見を交わした。会議には、商工・金融や農林水産業などの分野で働く人や大学生ら10〜30代の21人が参加。この日は14人が出席した。子育て・女性活躍のメンバーらは「つながり」を話し、道の駅奥大山代表取締役の古海

のなか村瑠美さん(32)は「子育て中のお母さんが楽しく過ごすためのきっかけをつくりたい」と話し、道の駅奥大山代表取締役の古海

約60人が参加した。国交省倉吉河川国道事務所や建設環境研究所の職員から川での遊び方や魚の説明を受けた後、子どもたちは三徳川の水辺の楽校で川遊びを体験。川に作った「池」に計16名の農